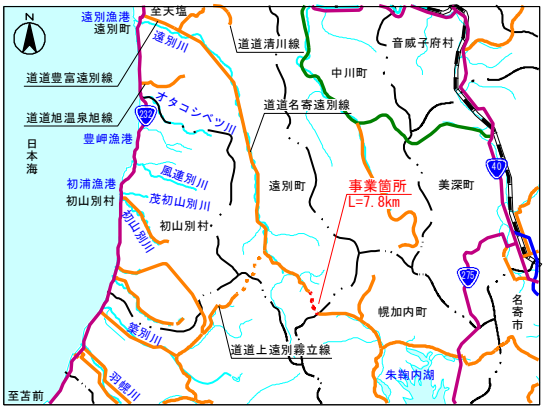
- 幹線道路ネットワークの形成
- 道路施設の老朽化対策と長寿命化の取組の推進
- 災害に強い道路交通環境の整備
- 安全・安心な道路交通の確保

地域の生活と産業を支える交通体系の充実と、災害時などにも代替性を確保できる交通ネットワークの形成など、豊かでうるおいのある地域づくりのために、常に道路状況を把握し、整備・維持管理を行っています。また、厳しい冬を快適に過ごせるように防雪施設の設置、路面管理など地域に適応した雪対策も行っています。

幹線道路ネットワーク形成

一般道道名寄遠別線（遠別町）

名寄遠別線は、名寄市から幌加内町を経由し遠別町に至る延長約90kmの一般道道です。
このうち当該事業は、遠別町字正修から幌加内町蕗の台へ向かう延長約7.8kmの区間であり、当区間の整備により、交通不能区間の解消による新たな交通ネットワークの構築、高次医療機関へのアクセス向上、物流効率化の支援、災害による孤立化の解消を図っていきます。



名寄市・幌加内町　方面

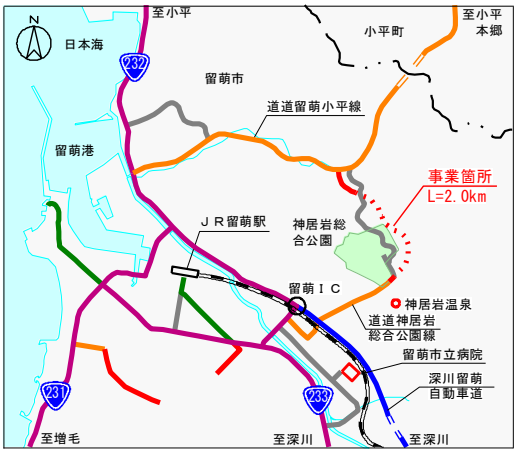
遠別町市街地　方面

宇遠別トンネル

３号橋（寿禄橋）

一般道道留萌小平線（留萌市）

留萌小平線は、一般国道232号から小平町本郷地区へ通じる地域住民の生活に資する道路です。留萌市民の憩いの場の総合公園へ通じる一般道道神居岩総合公園線と結び、留萌市立病院や商業施設への通行の利便性の向上を図るとともに、深川・留萌自動車道とのアクセス向上を図ることを目的に、未開通区間の整備を進めています。



都市の活性化や生活の質の向上を図る道路網の整備

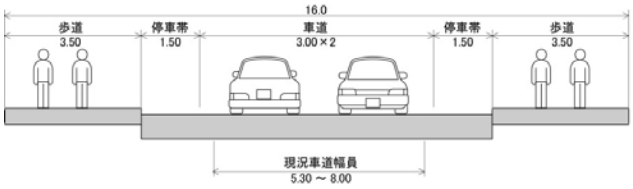
３・４・１８見晴通（留萌市）

見晴通は、国道２３１号から北８条通を経由し国道２３３号を結ぶ延長2.8kmの幹線街路ですが、現道は幅員が狭く、さらに見晴町を過ぎ、千鳥町に至る約1.3kmについては、現道がない交通不能区間となっています。

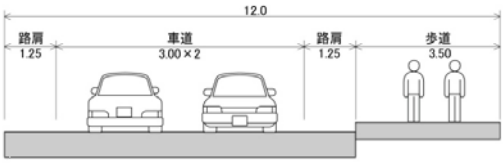
そのため、公的施設・医療施設へのアクセスの向上、災害時における南部高台地区住民の孤立の解消、通勤・通学の利便性・安全性の向上、冬期における安全で円滑な道路交通の確保などを目的に、道路拡幅・歩道整備、および交通不能区間の道路新設を行います。

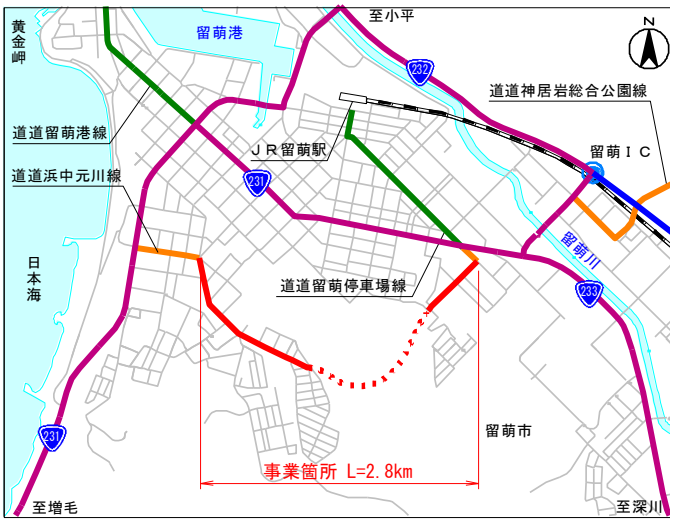
計画幅員

両歩道区間



片歩道区間





●洪水や土砂災害に備えた安全性の高い災害防止施設の整備

河川事業では、河川整備計画流域懇談会を開催し、住民や専門家の意見を広く聴きながら、①治水（流域を水害から守る）、②利水（水を利用し地域の発展を支える）、③環境（多くの生き物が棲める豊かな河川空間の保全）の３つの視点をもって河川整備計画を策定し、事業を進めています。

河川の整備と治水安全度の向上

有明ダム（初山別村）

施設の老朽化に伴い平成２４年度から堰堤改良の設計調査に着手し、ゲートレス化を行い出水時等のダム管理の合理化等を図るとともに、貯水池の堆砂対策を検討しており、工事については、平成２９年度から実施しています。令和３年１０月２９日よりネーミングライツにより愛称が「第一カッター有明ダム」となりました。

古丹別川（上流工区）（苫前町）

平成１１年の氾濫を契機に河川改修を実施してきましたが、平成２８年８月に発生した計画規模を上回る洪水により甚大な浸水被害が発生したため、再度の浸水被害防止を目的に、計画規模を引き上げた河川整備計画を策定（平成３１年３月変更）しました。
令和元年度から着手した新たな計画では、遊水地の新設や河道掘削及び堤防等の整備を実施し、再度の河川氾濫を防止するとともに安全な地域づくりを進めていきます。

ウツツ川（遠別町）

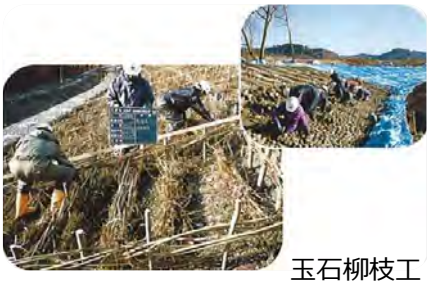
平成22年8月豪雨による浸水状況

平成２２年８月の豪雨に伴い、家屋や農耕地に大きな浸水被害が発生したため、令和元年度から新規に事業着手し、堤防の新設や河道の掘削等により流下能力不足の解消を図ります。
また、工事の実施に当たっては、良好な河川環境の保全に配慮しながら整備を進めていきます。

多自然川づくりの展開

石積み水制工

木製水制工


玉石柳枝工

小平蘂川（小平町）

昭和６３年の大氾濫を契機に、小平ダムの完成と相まって災害に強い安全な地域づくりを目指し整備を進めました。
また、多様な動植物が育めるように、河岸に石や木など自然の材料を使用した水制工の施工や早急な植生回復を目的とした玉石柳枝工などの多自然工法も取り入れ平成２１年度に完成しました。

地域参加による川づくり

河川整備を進める区間について、河川工事、河川維持、河川環境の整備と保全等に関して、地域住民や生態学などの学識経験者を交えた河川整備計画流域懇談会などを開催し、地域の意見を反映させた河川整備計画を策定しています。

第１回天塩川下流圏域河川整備計画流域懇談会の開催状況(令和４年９月１３日開催)

森と湖に親しむつどい

おびらしべ湖森と湖に親しむつどい（小平町）

「森と湖に親しむ旬間」にちなんで毎年７月、小平ダムで開かれているこのつどいは、多くの地域の方々が参加し、ダムの見学や地域団体等の催し物、各種ゲームなどで楽しい１日を過ごしています。

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2・3・4年のつどいは中止となりました。
写真は令和元年に実施したときのものです。

●洪水や土砂災害に備えた安全性の高い
災害防止施設の整備

集中豪雨、融雪、地震による土砂崩れや地すべりなど、自然はときとして予想もしない大きな災害をもたらします。尊い人命や住民の貴重な財産を災害から守るため、山地からの土石流等を防ぐ砂防事業、地すべりや雪崩から人家などを守る地すべり対策事業や雪崩対策事業、急な斜面で発生するがけ崩れを未然に防ぐ急傾斜地崩壊対策事業などを進めています。
また、住民の方々に土砂災害の備えや警戒・避難に役立てていただくために、土砂災害警戒区域等の現地標識を作成し、公共施設や集会場に掲示し住民に周知しています。

水と緑豊かな渓流環境等の保全整備

① 暑寒別川砂防事業（増毛町）

増毛町の市街地を通り日本海へ注ぐ暑寒別川は、付近に果樹園が広がりキャンプ場などが整備され町のシンボルとなっていますが、急流のため過去から度々土砂災害が発生していることから、浸水被害等を防ぐための砂防事業を進めています。平成１５年には下流域について渓流保全工が完了し、現在地元の理解と協力を得ながら上流域の対策を進めています。

２号床固工（H23年完成）
整備が完了した下流域
（増毛町で整備した河畔公園やキャンプ場は憩い場として、広く利用されています）

上流域の荒廃状況

（山腹崩壊状況）

（土砂の堆積状況）

雪崩災害から住民を守る施設の整備

② 留萌礼受雪崩対策事業（留萌市）

斜面下には国道や住宅が密集していることから、住民の生命や財産を守るために、雪崩の危険のある斜面に雪崩予防柵を設置する事業を実施しています。

土砂災害等から住民を守る防災施設の整備

③ 留萌南町4丁目2急傾斜地崩壊対策事業

急傾斜地が崩壊するがけ崩れから、住民の生命や財産を守るために、法枠、土留柵の設置を行なっています。

豪雨などで被災した施設の復旧

④ 平成３０年災　災害復旧事業

平成３０年７月２～３日の局地豪雨により留萌市を中心に土砂崩れ、河川氾濫、河岸決壊などが発生したため、災害復旧事業や緊急工事を行いました。

留萌瀬越・大町地区の崖崩れ被災状況

タルマップ川冠水状況

災害復旧工事完成（R1.9.10）

●海岸侵食に備えた安全性の高い災害防止施設の整備
●水産物供給基地としての漁港・漁場づくり

海岸事業では、日本海沿岸の高潮や波浪による海岸の侵食を防止し地域住民の生命や財産を守り、国土の保全を図るために護岸や消波堤、人工リーフなど、侵食対策事業による整備を進めています。
また、海岸を守りながら周辺環境ともリンクさせ、さまざまな機能を備えた海浜空間の創造を目的とした海岸環境整備事業にも取り組んでいます。
漁港事業では、管内の主要産業である水産業の振興を図るため、安全で機能的な漁港施設の整備を進めています。

海岸環境の整備・安全に海と親しめる海浜空間づくり

① 留萌海岸コースタル・コミュニティゾーン(CCZ)整備（留萌市）

「ふれあいの海岸」をテーマに海岸の特徴を活かしながら、周辺の公園・道路事業などとも有機的関連を持つことにより、さまざまな機能を備えた海浜空間の創造を目指し計画されました。計画の中核である沖見海岸環境整備事業は、平成１６年に完成し、安全でうるおいのある海浜空間（ゴールデンビーチるもい）が形成され、海洋レクリエーションの拠点として、地域経済の活性化につながるものと期待されています。

①沖見海岸環境整備の整備概要
●緩傾斜護岸　L＝1，020m
●人工リーフ2基　L＝1，020m
●養浜
●突堤3基　L＝840m
●安全情報伝達施設一式

多くの人々で賑わう沖見海岸　（ゴールデンビーチるもい）

② 鬼鹿漁港海岸整備事業〈おにしかツインビーチ〉（小平町）

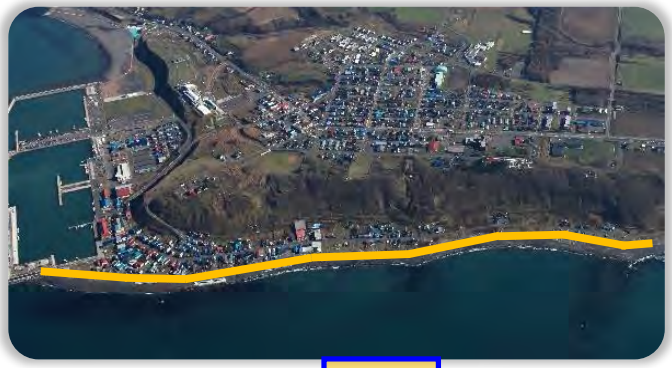
波が高い日でも安全に海で遊べる［クローズド・ビーチ］（平成１２年供用開始）と憩いの空間［オープン・ビーチ］（平成２０年供用開始）が２つの海浜空間をつくります。

鬼鹿漁港と「おにしかツインビーチ」

海岸侵食や高潮等から国土を守る海岸保全施設の整備

③ 苫前漁港海岸高潮対策事業（苫前町）

護岸、消波工を整備し、背後地区の人命および資産を高潮等による浸水被害から守ります。



平成１６年 台風１８号による浸水状況

整備状況

平成１６年 台風１８号による被害状況

快適で活力のある漁港の整備

安全で機能の充実した漁港づくりをめざして、防波堤や船揚場、泊地などの施設整備を進めています。事業の実施により快適で活力ある漁港、漁村が形成され、鮮度の良い水産物の安定的な出荷が可能となります。

④ 力昼漁港（苫前町）

⑤ 別苅漁港（増毛町）

維持・除雪

●きめ細やかな道路の維持
●快適な冬の暮らしの実現

留萌管内は、公共輸送機関をバス交通のみに頼る地域が大部分を占めるなど、道路利用が日常生活や生産活動の基盤となっています。そのうえ、冬季は、日本海沿岸特有の気候による豪雪、吹雪、吹き溜まりなどの影響により、交通障害がしばしば発生します。このような地域特性を踏まえ、道路交通の安全性と円滑性を確保するために定期的なパトロールによって道路状況の把握を行い、きめ細かな道路の維持管理と効率的な除排雪の実施に努めています。

道路の維持事業

道路利用者の安全・快適な通行を支えるために、路面清掃、草刈り、舗装補修、安全施設の維持管理などを行っています。

路面清掃作業状況

草刈作業状況

道路の除排雪事業

冬道の円滑な交通を確保するため、除雪や排雪、路面整正、すべり止め砂や凍結防止剤の散布などを行っています。

除雪作業状況

排雪作業状況